

合併特例債を活用し 学校にエアコンを！

落合 信太郎 議員

問 合併特例債は、残り約40%活用できるが、どのように活用するのか。

財政部次長 上位法で10年間延長となったので、延長に向けた事業に着手した。次世代の教育環境整備、保育所、道路、排水といった住民生活に密着したところに活用したい。

問 近隣市町村の動向も踏まえ、合併特例債を利用した市内小中学校のエアコン設置についての考えは。

市長 学校の耐震化が一番だが、老朽化した学校は、トイレを含む大規模改修が必要になっていく。エアコン設置は、早急に検討しなければならぬが、財政的なこともある。

問 エアコン設置についての具体的な試算は。

政策推進部長 守谷市が入れ替えた時は約6億円。当市の場合は最低でもその倍の12億円と試算している。

問 合併特例債を使えば費用負担は少なくなる。合併のメリットを身近に感じてもらえる使い方として、この部分を検討できないか。

財政部長 10年間の延長を検討するが、その中で教育委員会と公債金の支出のこ

とを考えて、財政計画を立てて検討していきたい。

空き店舗解消の 取り組み

吉田 宏 議員



補助金制度を利用した店舗

問 市内の空き店舗解消の取り組み状況は。

まちづくり振興部長 空き店舗活用補助金制度を設けた。内容は、①店舗改装費として、市内業者への発注を条件に、改装・設備・設計費用について、補助率2分の1、限度額100万円。

②家賃として、補助率2分の1、月額5万円以内で、期間は1年間。平成24年度は2店舗、平成25年度も既に1店舗、制度を利用し出店している。

問 空き店舗解消に向けた、物件等の情報提供・発信について、市の考えは。

答 ホームページ等を通じた補助金制度のPRや空き

店舗の詳細情報を提供できるように工夫したい。また、不動産業者と相談し、情報提供の拡大を図りたい。

問 貸す側が安心して空き店舗を貸すことができるような取り組みはあるか。

答 補助金制度の利用希望者に対して、経営面、資産、資本等について丁寧に聞き取りを行っている。加えて、経営指導等の経営支援も強化しており、制度利用者のバックアップを行うことで、貸す側も安心して店舗を貸せると考えている。

ゆめみ野地区と 戸頭東・西小の今後

入江 洋一 議員

問 ゆめみ野駅前前の商業施設誘致の状況は。

都市整備部長 約1ヘクタールの用地を確保し、住民の利便性確保を計画しているが、現段階では商業施設の進出は決まっていない。

問 工場建設により、道路が影になり、中学生の通学路が暗く危険。安全な環境対策から街灯設置の計画は。

建設部長 現在、関係機関と協議中。許可がおり次第、LEDの防犯灯を設置する。

問 下高井近隣公園の調整池について、児童の転落事故防止のための安全対策は。水とみどりの課長 柵の設置により安全を確保する。

工事の際には、看板を設置し注意喚起する。

問 ゆめみ野地区における公園の整備計画は。

答 近隣公園のほか4つの街区公園の整備を今年度実施。街区公園は広場主体で、2つを集い空間、残り2つを遊戯空間として整備し、遊具等を設置する。

問 新取手地区周辺の信号機の設置と見直しは。

市長 5月27日付で取手警察署に要望書を提出している。引き続き、県警に設置要望を強く働き掛ける。

問 統廃合計画にある戸頭東小学校の施設改善は。

教育次長 外壁塗装及び廊下・教室・トイレ等の改修並びに給食室の改修等を予定している。

桑原地区の開発

染谷 和博 議員

問 桑原地区は、事業者から商業施設等の開発意向があり、地元住民や地権者の要望も強い。市の計画にも開発を進める地域とあるが、進捗状況は。

市長 桑原地区は、都市計画道路の整備により環境の変化が大きく見込まれる。今年度は、平成27年度の県の都市計画決定に向けた基礎作業を進める。同地区は、事業者の参入意欲も非常に

強い。市街化地域への編入の手法を用いて、一刻も早く取手の活力を具現化することが市民や地権者の大きな期待だと思ふ。

問 開発地域は、国道6号を挟んで3区画あるが、具体的な計画は出ているのか。都市整備部長 事業者と事業の確実性に向けた協議をしている。

問 3区画の中で南側について話があるが、事業者に対してのアプローチは。

答 立地条件が非常に素晴らしく、事業者の意向も比較的高く感じる。地権者に影響するため、事業化に向けた確実性、担保性をきちんと整理していきたい。

問 市長の企業誘致に向けた意欲について。

市長 市のポテンシャルが高いことを営業していきたいが、農地を市街化区域に編入する必要がある。間違いなく期限内に仕事ができるよう万全を尽くしたい。



国道と都市計画道路が交わる桑原地区

ウエルネス・タウン 構想

結城 繁 議員

問 4月にできた健康づくり推進室の職員は、通常業務のほかに健康増進に関わる業務を行っているのか。健康福祉部長 部門間の連携が通常の仕事であり命題。部を超えた健康施策の連携が推進室の本来の仕事。

問 取手・藤代保健センターがウエルネスプラザに集約された後もその建物は使用すると聞いている。バリアフリーの観点からエレベーター設置や雨漏りへの対応は。

答 雨漏り、電気、水道の最低限の修繕をしながら引き続き使用していく。

問 東西自由通路の進捗は。都市整備部長 JR東日本と継続して協議しているが、目に見える進捗はない。

問 ウエルネス・タウン構想における自転車の活用は。

答 整備中の自転車駐車場には、レンタサイクル、屋上に休憩や着替えスペースを設ける。また、ウエルネスプラザ内にシャワー室やロッカー室を設ける。

問 5月31日は世界禁煙デーだが、我孫子・柏と異なる、取手があまり取り上げないのはなぜか。

まちづくり振興部長 キャンペーンを強化していく。

7